

平成27年度実施事務事業評価シートの読み方

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	総合政策部 行政経営課	担当課長名	塩川 英樹
(※)第1期実施計画の事業名	行財政改革推進事業	財務会計上の事業名	委員報酬事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	6021	財務会計上の短縮番号	105
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち	
	節	第2節健全な行財政運営の推進	
	項目	項目1行政の効率性と財政の健全化の確保	

総合計画における施策を章、節、項目に分けて記入しています。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	財政危機の回避に加えて、安定的な行政組織の基礎を確立する。
事業の対象 (誰を、何を)	本市の行財政運営
事業の手段・方法 (どのように)	「池田市行財政改革指針」及び「池田市行財政改革推進プラン」に沿った取組を進める。行財政改革の進捗状況について、池田市行財政改革推進委員会を開催し、意見を聴取する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 9 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	地方自治法第2条第14項、池田市附属機関条例、池田市行財政改革推進委員会規則

事業の基本となる項目を記載しています。事業の目的とそのためのプロセスを記載することで、その事業の意義を確認しています。

2 事業費等

区 分	24 年度 (決算)	25 年度 (決算)	26 年度 (決算)	27 年度 (予算)	H26/H25	
事業費(千円)	101	101	319	235	315.8%	
主な内訳	委員報酬		319	235	315.8%	
	報償金	101			-	
人件費(人・千円)	0.55, 4,290	0.55, 4,290	0.75, 5,850	0.65, 4,940	136.4%	
内訳	正職員	0.55, 4,290	0.55, 4,290	0.75, 5,850	0.65, 4,940	136.4%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	アルバイト	0	0	0	0	-
支出合計 A	4,391	4,391	6,169	5,175	140.5%	

事業費と事業費に占める主要な費目や、事業に携わる人員の人員費(概算)を含めて分析することで、より精確にコスト面の評価を実施しています。

財源	国・府支出金				-
	地方債				-
	その他財源				-
	うち受益者負担 B				-
	一般財源 C	4,391	4,391	6,169	5,175
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A					-

事業費に占める財源の内訳を分析しています。事業費に占める一般財源の割合を示す一般財源比率と、事業費に占める受益者負担の割合を示す受益者負担率とを記載しています。

受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し
上記の内容	

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	行財政改革は市の内部管理事項であり、市が主体的に取り組む必要がある。

アウトソーシングについて現状と今後に区分し、評価しています。現状についてはアウトソーシングを導入することで得られた効果を記載しています。また、今後については今後のアウトソーシング導入の可否と導入した場合に見込まれる効果を記載しています。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	101年度 (実績)	102年度 (実績)	103年度 (実績)	104年度 (予定)	目標値 (H26)
☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	臨時財源補てんを除いた形式収支	百万円	1,065	△295	47	0超	0超
☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	経常収支比率	%	89.0	97.6	97.9	90%台	90%台
☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	職員数(一般会計)	人	616	599	599	601	500人台
☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	人件費総額(退職手当を除く。)	百万円	5,982	5,682	5,972	6,000未満	6,000未満
☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	行財政改革効果額(累計額)	百万円	1,724	2,819	3,407	-	2,000以上
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		平成26年度において改革の目標を全て達成したため。						

有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	「池田市行財政改革推進プラン」に基づく取組によって事務の効率化を着実に推進しているが、改革期間全体を振り返れば、「臨時財源補てんをせず形式収支黒字化」の目標について未達成の年度があったことから改善の余地がある。平成27年3月に策定した「池田市行財政改革推進プランII」に基づく改革を推進することで、より有効性を高めることができると考える。

事業の有効性と効率性についてA、B、Cの3段階で評価しています。

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成25年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	池田市行財政改革推進委員会を附属機関に改編し、同委員会による意見表明が可能となるよう見直しを実施した。
平成27年度取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	平成27年度から平成30年度までを改革期間とする「池田市行財政改革推進プランII」に基づき、引き続き行財政改革を推進する。
現在抱える課題とその対策	課題: 安定的な財政構造の確立(臨時財源補てんをせず形式収支黒字化) 対策: 「池田市行財政改革推進プランII」に基づき、スクラップ&ビルドの徹底と各部が主体的に行財政改革に取り組む体制の構築を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	平成28年度以降も「池田市行財政改革指針」及び「池田市行財政改革推進プランII」に基づき、スクラップ&ビルドの徹底と各部が主体的に行財政改革に取り組む体制の構築に取り組み、市政運営の質を高める「質の行財政改革」を推進する。

担当課の評価として、実施年度を含む5年間の見直し内容、平成27年度取組方針、現在の課題と対策を評価しています。また、その担当課の評価を踏まえた担当部長の評価として、平成28年度以降の取組方針を記入しています。